Curriculum Vitae

金沢大学 学術メディア創成センター　研究協力員　河畑 則文

2026 年 10 月 14 日

1　現所属

金沢大学 学術メディア創成センター 研究協力員，コンピュータイメージングラボ 代表
〒 920–1192　石川県金沢市角間町　金沢大学 学術メディア創成センター
mailto: norifumi [AT] staff [DOT] kanazawa-u [DOT] ac [DOT] jp
個人 Web: https://home.norifumik.nagoya
組織 Web: https://www.emi.kanazawa-u.ac.jp, https://imaging.norifumik.nagoya

2　経歴

- 2026 年 4 月〜現在　コンピュータイメージングラボ 代表
- 2026 年 4 月〜現在　金沢大学 学術メディア創成センター 研究協力員
- 2025 年 4 月〜2026 年 3 月　金沢大学 学術メディア創成センター 特任助教
- 2024 年 5 月〜2025 年 3 月　コンピュータイメージングラボ 代表
- 2024 年 4 月〜2024 年 4 月　金沢学院大学 情報工学部 情報工学科 准教授
- 2023 年 4 月〜2024 年 4 月　金沢学院大学 経済情報学部 経済情報学科 准教授
- 2022 年 4 月〜2023 年 3 月　コンピュータイメージングラボ 代表
- 2021 年 10 月〜2022 年 3 月　北海道大学 数理・データサイエンス教育研究センター 特任助教
- 2021 年 8 月〜2021 年 9 月　東海国立大学機構 医療健康データ統合研究教育拠点
- 2021 年 8 月〜2021 年 9 月　名古屋大学 医学部附属病院 メディカル IT センター 技術補佐員
- 2019 年 4 月〜2021 年 7 月　東京理科大学 理工学部 情報科学科 助教
- 2018 年 4 月〜2019 年 3 月　名古屋大学 未来社会創造機構 交通・情報システム研究部門 技術補佐員
- 2017 年 4 月〜2018 年 3 月　千葉大学 フロンティア医工学センター 特別研究員

3　学歴

- 2017 年 3 月，名古屋大学 大学院 情報科学研究科 情報システム学専攻 博士課程後期課程 修了
- 2013 年 4 月，名古屋大学 大学院 情報科学研究科 情報システム学専攻 博士課程後期課程 入学
- 2013 年 3 月，富山大学 大学院 理工学教育部 修士課程 知能情報工学専攻 修了
- 2011 年 4 月，富山大学 大学院 理工学教育部 修士課程 知能情報工学専攻 入学
- 2011 年 3 月，富山大学 工学部 知能情報工学科 卒業
- 2007 年 4 月，富山大学 工学部 知能情報工学科 入学
- 2007 年 3 月，星稜高等学校 普通科 卒業

4　学位

- 博士（情報科学）（名古屋大学），課程（情科博第 203 号），2017 年 3 月
- 修士（工学）（富山大学），課程（富理工修第 1336 号），2013 年 3 月
- 学士（工学）（富山大学），課程，2011 年 3 月

5 研究分野

- 情報工学，情報科学，コンピュータ科学
- 多視点 3D 画像・映像，3 次元画像処理，3 次元ディスプレイ
- 3DCG，コンピュテーショナルイメージング，質感情報学
- イメージ・メディア・クオリティ，視覚メディア処理，視覚情報科学
- 画像・信号処理，電子透かし，スパースコーディング
- 色彩情報工学，カラリゼーション，カラーマネジメント
- 画像符号化・映像メディア処理，超解像，360 度画像・映像
- データマイニング，機械学習，多変量解析
- ヒューマンインタフェース・インタラクション，人間工学，医用 VR
- メディカルシステム，健康情報，医用画像工学

6 教育・研究歴

- 2026 年 4 月〜現在　コンピュータイメージングラボ 代表
  コンピュータ科学に立脚した信号メディア処理に関する研究に従事.
- 2026 年 4 月〜現在　金沢大学 学術メディア創成センター 研究協力員
  博物館 DX に資する歴史的物資料デジタルアーカイブの構築およびセキュアな利活用技術に関する研究に従事.
- 2025 年 4 月〜2026 年 3 月　金沢大学 学術メディア創成センター 特任助教
  次世代情報通信技術や情報処理技術（数理・データサイエンス，情報・知財セキュリティ，AI 等を活用した知識発見やデータ解釈・データ可視化，Society5.0 を実現する DX 技術）に基づく情報インフラ・システムの設計・導入，先進的なディジタル教材の開発とそれらを活用した情報教育，DX の推進に関する教育・研究に従事.
- 2024 年 5 月〜2025 年 3 月　コンピュータイメージングラボ 代表
  数理・データサイエンスに立脚した画像信号処理に関する研究に従事.
- 2024 年 4 月〜2024 年 4 月　金沢学院大学 情報工学部 情報工学科 准教授
  コンピュータ工学（信号処理工学）に関する教育・研究に従事.
- 2023 年 4 月〜2024 年 4 月　金沢学院大学 経済情報学部 経済情報学科 准教授
  経済情報学に立脚したマルチメディア信号処理に関する教育・研究に従事.
  - **2023 年度 Q1・Q2**
    - プログラミング基礎 a（経営）
    - プログラミング基礎 b（経営）
    - コンピュータ基礎演習 I a（経済・経営）
    - コンピュータ基礎演習 I b（経済・経営）
    - プログラミング IV a（経済情報）
    - プログラミング IV b（経済情報）
    - データベース I（経済情報）
    - 基礎演習 I（経済情報）

  - **2023 年度 Q3・Q4**
    * プログラミング I a（経営）
    * プログラミング I b（経営）
    * コンピュータ基礎演習 II a（経済・経営）
    * コンピュータ基礎演習 II b（経済・経営）
    * プログラミング III a（経済情報）
    * プログラミング III b（経済情報）
    * データベース II（経済情報）
    * 基礎演習 II（経済情報）

- 2022 年 4 月〜2023 年 3 月　コンピュータイメージングラボ 代表
  数理・データサイエンスに立脚した画像情報処理に関する研究に従事.

  - **2022 年度**：コンピュータイメージングラボ情報プラットフォーム（データサイエンス基礎，データエンジニアリング基礎，AI 基礎）

- 2021 年 10 月〜2022 年 3 月　北海道大学 数理・データサイエンス教育研究センター 特任助教
  データ関連人材育成プログラム (Doctoral program for Data-Related InnoVation Expert (D-DRIVE))，社会に求められる数理・データサイエンスに関するスキルセットの整理とインフラの調査・開発・整備・運営，コンピュータイメージング分野の数理・データサイエンスに関する教育・研究に従事.

  - **2021 年度後学期**：MDS プラットフォーム（クラスタリング）（回帰分析，階層型クラスタリング，非階層型クラスタリング，単純ベイズ法による分類，サポートベクトルマシンによる分類）
  - **2021 年度後学期**：MDS プラットフォーム（最適化）（最適化の概要，線形計画と凸 2 次計画，非線形計画，凸計画）

- 2021 年 8 月〜2021 年 9 月　名古屋大学 医学部附属病院 メディカル IT センター 技術補佐員
  スマートホスピタルプロジェクト（医療機器を追跡する電源タップの開発実証）に関する研究補助・技術補助及び管理業務に従事.

- 2019 年 4 月〜2021 年 7 月　東京理科大学 理工学部 情報科学科 助教
  医理工連携を想定した計算機科学（ソフトウェア工学，コンピュータグラフィックス，形式手法）に関する教育・研究に従事.

  - 計算機入門及び演習

    2019 年度前学期，2019 年度後学期 ：UNIX 入門 (**), インターネット入門 (**), UNIX 演習 (**), TeX 入門 (**), C 言語入門 (**)

    2020 年度前学期，2020 年度後学期 ：UNIX 入門 (**), インターネット入門 (**), UNIX 演習 (**), TeX 入門 (**), C 言語入門 (**)

    2021 年度前学期 ：UNIX 入門 (**), UNIX 演習 (**), TeX 入門 (**)
  - 情報科学実験 I（2019 年度前学期），情報科学実験 1（2020 年度前学期，2021 年度前学期）

    2019 年度前学期 : OCaml 基礎 (**), OCaml 抽象型 (***), OCaml 応用 (**)

    2020 年度前学期 : OCaml 基礎 (**), OCaml 抽象型 (**), OCaml 応用 (**)

    2021 年度前学期 : OCaml 基礎 (**), OCaml 抽象型 (**), OCaml 応用 (**)
  - 情報科学演習 I（2019 年度後学期），情報科学演習 1（2020 年度後学期）

    2019 年度後学期 : Java 基礎 (***), Java イベント処理 (**), Java スレッド (**), Java アニメーション (**)

    2020 年度後学期 : Java 基礎 (**), Java イベント処理 (**), Java アルゴリズム (**), Java アニメーション (**)

- 情報科学実験 II（2019 年度後学期），情報科学実験 2（2020 年度後学期）

  2019 年度後学期 : PBL (***)

  2020 年度後学期 : PBL (***)

- 情報科学演習 II（2019 年度前学期），情報科学演習 2（2020 年度前学期，2021 年度前学期）

  2019 年度前学期 : C 言語中級 / C++ (**), ネットワークプログラミング (**), SQL, PHP, JavaScript (**)

  2020 年度前学期 : C 言語中級 / C++ (**), システムプログラム及び演習（組込みシステムプログラミング）(***), 画像処理及び演習（画像処理プログラミング）(***)

  2021 年度前学期 : C 言語中級 / C++ (**), ネットワークプログラミング (**), マルチメディアプログラミング (**)

  2021 年度前学期 ：計算機ハードウェア及び演習ゼミ，コンピュータグラフィックス及び演習ゼミ (***)

- 情報科学実験 III（2019 年度後学期）(**)，情報科学実験 3（2020 年度後学期）(**)
- 情報科学演習 III（2019 年度後学期）(**)，情報科学実験 3（2020 年度後学期）(**)

  2020 年度後学期 ：コンピュータイメージング分野 3 年ゼミ（360°VR 映像，ライトフィールド，3 次元復元，Unity 演習, ライティング技術，自動運転ソフトウェア演習）(***)

- 卒業研究 (IS 卒研)（2019 年度通年，2020 年度通年，2021 年度前学期）

  2019 年度通年 ：卒研全体 MTG (**), 画像処理 G 研究 MTG (***), 画像処理ゼミ（基礎，専門）(***), 集中ゼミ（コンピュータビジョン）(***), スキルゼミ（Python, データサイエンス）(***)

  2020 年度通年 ：卒研全体 MTG (**), 画像処理 G 研究 MTG，コンピュータイメージング分野研究 MTG (***), 画像処理ゼミ（基礎，専門）(***), 集中ゼミ（コンピュータビジョン，コンピュータグラフィックス，医用画像工学）(***), スキルゼミ（Python, データサイエンス）(***)

  2021 年度前学期 ：卒研全体 MTG (**), コンピュータイメージング分野研究 MTG (***), コンピュータイメージング分野ゼミ（画像処理ゼミ（基礎，専門）(***), 集中ゼミ（コンピュータビジョン，コンピュータグラフィックス，医用画像工学）(***), スキルゼミ（Python, データサイエンス）(***))

※ (***) は主担当，(**) は副担当を示す.

- 2018 年 4 月〜2019 年 3 月　名古屋大学 未来社会創造機構 交通・情報システム研究部門 技術補佐員
  モビリティ社会における次世代交通・情報システムに関する研究補助に従事.
- 2017 年 4 月〜2018 年 3 月　千葉大学 フロンティア医工学センター 特別研究員
  バーチャルリアリティ機器を活用した医療支援システムの開発，医用画像工学に関する教育・研究に従事.（中口研究室）
- 2014 年 4 月〜2015 年 3 月　椙山女学園大学 文化情報学部 ティーチング・スタッフ (TS)
  - 映像・アニメーション制作（2014 年度前学期）
  - グラフィックデザイン（2014 年度後学期）
- 2013 年 10 月〜2014 年 3 月　名古屋大学 大学院 情報科学研究科 研究アシスタント (RA)
  卓越した大学院拠点形成支援補助金による
- 2013 年 4 月〜2013 年 9 月　名古屋大学 ティーチング・アシスタント (TA)
  - 基礎セミナー A (情報プラットフォーム，ユーザビリティを中心に)（2013 年度前学期）
- 2011 年 10 月〜2012 年 3 月　富山大学 ティーチング・アシスタント (TA)
  - 教養原論演習 (C 言語)（2011 年度後学期）

7 資格

- 暗算検定 1 級
- 珠算検定準段
- 書道初段
- 英検 2 級
- 準中型自動車免許（1 種）
- 高等学校教諭 1 種免許状（工業）
- 高等学校教諭専修免許状（工業）
- TOEIC 620
- IT パスポート（DX 推進パスポート 1）
- G 検定（ジェネラリスト検定）（DX 推進パスポート 2）
- CG-ARTS 検定 マルチメディア検定 ベーシック
- CG-ARTS 検定 画像処理エンジニア検定 ベーシック

8 スキル

8.1 プログラミング言語

- C / Visual C++ / C#
- Java
- OCaml / ML
- LISP
- Assembly
- PHP
- Python
- R
- JavaScript
- HTML5 / CSS3

8.2 ツール

- MATLAB
- Scilab
- OpenCV
- Autodesk Maya
- Blender
- Unity
- Adobe Photoshop
- Adobe Premiere
- Adobe After Effects
- JM / High Efficiency Video Coding Software

9 国際学会渡航歴

[1]. The 21st International Workshop on Advanced Image Technology (IWAIT2018), The Imperial Mae Ping Hotel, Chiang Mai, Thailand, January 7-9, 2018.

[2]. The 27th International Workshop on Advanced Image Technology (IWAIT2024), Parkroyal Langkawi Resort, Langkawi, Malaysia, January 7-8, 2024.

[3]. Electronic Imaging 2025 (EI2025), Hyatt Regency San Francisco Airport, Burlingame, CA USA, February 2025.

[4]. The 33rd Color and Imaging Conference (CIC33), Hong Kong Science Park, Hong Kong, October 2025.

[5]. The 29th International Workshop on Advanced Image Technology (IWAIT2026), Howard Plaza Hotel Kaohsiung, Kaohsiung, Taiwan, January 2026.

[6]. Electronic Imaging 2026 (EI2026), Hyatt Regency San Francisco Airport, Burlingame, CA USA, March 2026.

[7]. The 41st International Technical Conference on Circuits/Systems, Computers and Communications (ITC-CSCC2026), Royal Orchid Sheraton Riverside Hotel Bangkok, Bangkok, Thailand, July 2026.

[8]. Computational Color Imaging Workshop Satellite workshop within ICIP2026, The 33rd IEEE International Conference on Image Processing, Tampere Hall, Tampere, Finland, September 2026.

[9]. The 9th Asia Color Association Conference (ACA2026), Taipei City, Taiwan, November 2026 (to appear).

10 競争的研究資金，研究費，スカラーシップ

- 令和 7 年度金沢大学学術メディア創成センター教員研究費（2025 年度）
- 2023 年 12 月期電気通信普及財団海外渡航旅費援助に採択（2023 年度）
- 令和 5 年度金沢学院大学教員個人研究費（2023 年度）
- 令和 3 年度東京理科大学教員教育研究費（2021 年度）
- 令和 2 年度東京理科大学教員教育研究費（2020 年度）
- 平成 31 年度／令和元年度東京理科大学教員教育研究費（2019 年度）
- 平成 29 年 12 月期電気通信普及財団海外渡航旅費援助に採択（2017 年度）
- 映像情報メディア学会国際会議学生発表援助に採択（2016 年度）
- 学業優秀かつ学位論文作成のために、最大 1 年間の授業料免除（前学期: 全額免除, 後学期: 半額免除）（2016 年度）
- 名古屋大学大学院情報科学研究科博士課程研究助成（2015 年度）
- 名古屋大学大学院情報科学研究科博士課程研究助成（2014 年度）
- 卓越した大学院拠点形成支援補助金による研究アシスタント（2013 年度）

11 学会・社会貢献

11.1 所属学会

- 映像情報メディア学会 (ITE)（正会員，2011 年 2 月から現在）
- 電子情報通信学会 (IEICE)（正会員，2013 年 8 月から現在）
- IEEE（Member, 2014 年 2 月から現在）
  - IEEE Signal Processing Society (IEEE SPS)（Member, 2014 年 2 月から現在）
  - IEEE Engineering in Medicine & Biology Society (IEEE EMBS)（Member, 2020 年 10 月から現在）

  - IEEE Computer Society (IEEE CS)（Member, 2020 年 10 月から現在）
- 画像電子学会 (IIEEJ)（正会員，2015 年 4 月から現在）
- 情報処理学会 (IPSJ)（正会員，2017 年 2 月から現在）
- 日本医用画像工学会 (JAMIT)（正会員，2018 年 4 月から現在）
- 日本コンピュータ外科学会 (JSCAS)（正会員，2018 年 7 月から現在）
- 国際光工学会 (SPIE)（Individual Member, 2020 年 6 月から現在）
- 日本医療情報学会 (JAMI)（正会員, 2021 年 8 月から現在）
- 米国画像科学技術協会 (IS&T)（Member, 2021 年 12 月から現在）
- データサイエンティスト協会（会員，2025 年 6 月から現在）
- 電気学会（正会員，2025 年 9 月から現在）
- 日本色彩学会（正会員，2026 年 2 月から現在）

11.2 委員歴

- 2026 年 7 月～現在　Technical Program Committee Member, *The 33rd International Conference on MultiMedia Modeling* (MMM 2027)
- 2026 年 7 月～現在　Publicity Chair, *2026 9th International Conference on Blockchain Technology and Applications* (ICBTA2026)
- 2026 年 7 月～現在　Technical Committee, *2026 9th International Conference on Blockchain Technology and Applications* (ICBTA2026)
- 2025 年 11 月～現在　日本コンピュータ外科学会 評議員（2 期）
- 2026 年 9 月～2026 年 9 月　令和 8 年度電子情報通信学会北陸支部 学生優秀論文発表賞 審査員
- 2026 年 9 月～2026 年 9 月　2026 年電気・情報関係学会北陸支部連合大会 (JHES2026) 座長
- 2025 年 8 月～2026 年 1 月　Technical Programme Committee, *The 32nd International Conference on Multimedia Modeling* (MMM 2026)
- 2025 年 12 月～2025 年 12 月　Session Chair, *2025 8th International Conference on Blockchain Technology and Applications* (ICBTA2025)
- 2025 年 11 月～2025 年 12 月　Technical Committee, *2025 8th International Conference on Blockchain Technology and Applications* (ICBTA2025)
- 2023 年 12 月～2025 年 11 月　日本コンピュータ外科学会 評議員（1 期）
- 2024 年 8 月～2025 年 1 月　Technical Programme Committee, *The 31st International Conference on Multimedia Modeling* (MMM 2025)
- 2023 年 8 月～2023 年 9 月　令和 5 年度電子情報通信学会北陸支部 学生優秀論文発表賞 審査員
- 2019 年 7 月～2019 年 7 月　*International Collegiate Programming Contest* (ICPC 2019) *Asia Yokohama Regional Online First Round Contest* 監督員

11.3 査読経験

- Reviewer, *The 33rd International Conference on MultiMedia Modeling* (MMM 2027)
  (2026 年 9 月から現在，通算 2 回)
- Reviewer, *Expert Systems With Applications*
  (2026 年 8 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *2026 IEEE International Conference on Visual Communications and Image Processing* (VCIP2026)
  (2026 年 7 月から現在，通算 3 回)

- Reviewer, *APSIPA Annual Summit and Conference 2026* (APSIPA ASC 2026)
  (2026 年 7 月から現在，通算 3 回)
- Reviewer, *Digital Signal Processing* (DSP)
  (2026 年 6 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *The 34th Color and Imaging Conference* (CIC34)
  (2026 年 5 月から現在，通算 4 回)
- Reviewer, *IEEE Open Journal of Signal Processing*
  (2026 年 3 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *IEEE Transactions on Signal Processing* (SP)
  (2026 年 1 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery* (IJCARS)
  (2026 年 1 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *2025 8th International Conference on Blockchain Technology and Applications* (ICBTA2025)
  (2025 年 11 月〜2025 年 12 月，通算 2 回)
- Reviewer, *2025 IEEE International Conference on Visual Communications and Image Processing* (VCIP2025)
  (2025 年 7 月〜2025 年 12 月，通算 5 回)
- Reviewer, *Circuits, Systems, and Signal Processing* (CSSP)
  (2025 年 10 月から現在，通算 1 回)
- 査読委員，情報処理学会論文誌 (IPSJ Journal)
  (2025 年 6 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *Journal of Perceptual Imaging* (JPI)
  (2025 年 6 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *The 19th Machine Vision Applications* (MVA2025)
  (2025 年 4 月〜2025 年 7 月，通算 4 回)
- Reviewer, *IoT*
  (2025 年 2 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *Frontiers of Computer Science*
  (2024 年 12 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *Biomimetics*
  (2024 年 10 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *IEEE Sensors Letters*
  (2024 年 9 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *The 31st International Conference on Multimedia Modeling* (MMM 2025)
  (2024 年 8 月〜2025 年 1 月，通算 7 回)
- Reviewer, *International Journal of Imaging Systems and Technology*
  (2024 年 8 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *IEEE Transactions on Geoscience and Remote Sensing*
  (2024 年 7 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *2024 IEEE International Conference on Visual Communications and Image Processing* (VCIP2024)
  (2024 年 7 月〜2024 年 12 月，通算 5 回)
- Reviewer, *PeerJ Computer Science*
  (2024 年 7 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *Remote Sensing*
  (2024 年 7 月から現在，通算 1 回)

- Reviewer, *Neural Networks*
  (2024 年 6 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *IEEE Consumer Electronics Magazine*
  (2024 年 5 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *IEEE Transactions on Pattern Analysis and Machine Intelligence* (PAMI)
  (2024 年 5 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *Electromagnetic Science*
  (2024 年 4 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *IEEE Transactions on Information Forensics & Security* (T-IFS)
  (2024 年 1 月から現在，通算 3 回)
- Reviewer, *IEEE Transactions on Computational Imaging* (TCI)
  (2024 年 1 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, The 2nd International Conference on Computer Graphics and Image Processing (CGIP2024)
  (2023 年 12 月〜2024 年 1 月，通算 3 回)
- Reviewer, *IEEE Transactions on Intelligent Vehicles*
  (2023 年 10 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *Chinese Optics Letters*
  (2023 年 10 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *IEEE Transactions on Artificial Intelligence* (TAI)
  (2023 年 9 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *Computers in Biology and Medicine* (CBM)
  (2023 年 9 月から現在，通算 2 回)
- Reviewer, *IEEE Transactions on Industrial Informatics* (TII)
  (2023 年 8 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *Big Data and Cognitive Computing* (BDCC)
  (2023 年 7 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *EURASIP Journal on Advances in Signal Processing*
  (2023 年 6 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *International Journal of Environmental Research and Public Health*
  (2023 年 3 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *IET Image Processing*
  (2023 年 2 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *Nonlinear Theory and Its Applications, IEICE*
  (2023 年 1 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *IEEE Transactions on Consumer Electronics* (TCE)
  (2022 年 12 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *Disaster Medicine and Public Health Preparedness* (DMP)
  (2022 年 11 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *ACM Transactions on Privacy and Security* (TOPS)
  (2022 年 7 月から現在，通算 1 回)
- 査読委員, 電子情報通信学会論文誌 D（情報・システム）
  (2022 年 6 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *Discrete Dynamics in Nature and Society*
  (2022 年 6 月から現在，通算 1 回)
- 査読委員, 電子情報通信学会論文誌 B（通信）
  (2022 年 6 月から現在，通算 1 回)

- Reviewer, *IEEE Transactions on Emerging Topics in Computational Intelligence*
  (2022 年 2 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *IEEE Transactions on Dependable and Secure Computing*
  (2022 年 2 月から現在，通算 2 回)
- Reviewer, *IEICE Electronics Express*
  (2021 年 12 月から現在，通算 3 回)
- Reviewer, *Tomography*
  (2021 年 10 月から現在，通算 2 回)
- Reviewer, *Advanced Intelligent Systems*
  (2021 年 10 月から現在，通算 1 回)
- 査読委員, 情報処理学会論文誌：コンシューマ・デバイス&システム
  (2021 年 10 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences*
  (2021 年 10 月から現在，通算 4 回)
- Reviewer, *Multimedia Systems* (MMSJ)
  (2021 年 9 月から現在，通算 6 回)
- Reviewer, *IEEE Transactions on Neural Networks and Learning Systems* (TNNLS)
  (2021 年 6 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *IEEE Signal Processing Letters* (SPL)
  (2021 年 5 月から現在，通算 2 回)
- Reviewer, *Optical Review*
  (2021 年 5 月から現在，通算 5 回)
- Reviewer, *IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering*
  (2021 年 4 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *Signal, Image and Video Processing* (SIVP)
  (2021 年 4 月から現在，通算 4 回)
- Reviewer, *IEICE Transactions on Information and Systems*
  (2021 年 4 月から現在，通算 4 回)
- Reviewer, *Journal of the Society for Information Display* (J. SID)
  (2020 年 6 月から現在，通算 2 回)
- Reviewer, *Sensors* (SENSC9)
  (2020 年 2 月から現在，通算 3 回)
- 査読委員, 電気学会論文誌 C（電子・情報・システム部門誌）
  (2019 年 10 月から現在，通算 7 回)
- Reviewer, *APSIPA Transactions on Signal and Information Processing*
  (2019 年 9 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *IEEE Journal on Emerging and Selected Topics in Circuits and Systems* (IEEE JETCAS)
  (2019 年 8 月から現在，通算 1 回)
- Reviewer, *Electronics* (ELECGJ)
  (2019 年 7 月から現在，通算 5 回)
- Reviewer, *IEEE Journal of Biomedical and Health Informatics* (JBHI-EMBS)
  (2019 年 7 月から現在，通算 12 回)
- Reviewer, *Multimedia Tools and Applications* (MTAP)
  (2019 年 3 月から現在，通算 21 回)
- Reviewer, *Neurocomputing* (NEUCOM)
  (2019 年 2 月から現在，通算 7 回)

- Reviewer, *Symmetry* (SYMMAM)
  (2019 年 1 月から現在，通算 3 回)
- Reviewer, *Applied Sciences* (ApplSci)
  (2018 年 7 月から現在，通算 11 回)
- Reviewer, *IEEE Access*
  (2018 年 7 月から現在，通算 25 回)
- Reviewer, *Journal of Imaging* (J. Imaging)
  (2018 年 6 月から現在，通算 3 回)
- Reviewer, *IEEE Transactions on Circuits and Systems II: Express Briefs* (TCAS-II)
  (2018 年 2 月から現在，通算 5 回)
- Reviewer, *IEEE Transactions on Circuits and Systems I: Regular Papers* (TCAS-I)
  (2018 年 2 月から現在，通算 4 回)
- Reviewer, *Journal of Imaging Science and Technology* (JIST)
  (2018 年 2 月から現在，通算 17 回)
- Reviewer, *IEEE Transactions on Medical Imaging* (TMI)
  (2018 年 1 月から現在，通算 5 回)
- Reviewer, *Signal Processing* (SigPro)
  (2018 年 1 月から現在，通算 3 回)
- Reviewer, *SPIE Journal of Electronic Imaging* (JEI)
  (2017 年 12 月から現在，通算 4 回)
- Reviewer, *IEEE Transactions on Image Processing* (TIP)
  (2017 年 12 月から現在，通算 23 回)
- Reviewer, *EURASIP Journal on Image and Video Processing* (JIVP)
  (2017 年 11 月から現在，通算 4 回)
- Reviewer, *IEEE Transactions on Multimedia* (TMM)
  (2017 年 9 月から現在，通算 41 回)
- Reviewer, *IEEE Transactions on Circuits and Systems for Video Technology* (TCSVT)
  (2017 年 6 月から現在，通算 39 回)

12 受賞

[1]. **“The international society for optics and photonics, SPIE Journal of Electronic Imaging, Certificate of Appreciation,”** for serving as a reviewer for Journal of Electronic Imaging during the calendar year of 2025, February 10, 2026.

[2]. **“2025 8th International Conference on Blockchain Technology and Applications (ICBTA2025) Certificate of Appreciation,”** For his achievements in chairing the following session: Onsite Session I: Data Privacy and Information Security Protection Mechanisms, December 12-14, 2025.

[3]. **“2024 TPAMI Reviewer Certificate, IEEE Transactions on Pattern Recognition and Machine Intelligence (TPAMI),”** This certificate is awarded in recognition of the recipient’s efforts as a peer reviewer. September 26, 2025.

[4]. **“2024 TDSC Reviewer Certificate, IEEE Transactions on Dependable and Secure Computing (TDSC),”** This certificate is awarded in recognition of the recipient’s efforts as a peer reviewer. September 26, 2025.

[5]. **“The international society for optics and photonics, SPIE Journal of Electronic Imaging, Certificate of Appreciation,”** for serving as a reviewer for Journal of Electronic Imaging during the calendar year of 2024, January 7, 2025.

[6]. **“The international society for optics and photonics, SPIE Journal of Electronic Imaging, Certificate of Appreciation,”** for serving as a reviewer for Journal of Electronic Imaging during the calendar year of 2023, January 4, 2024.

[7]. **“The international society for optics and photonics, SPIE Journal of Electronic Imaging, Certificate of Appreciation,”** for serving as a reviewer for Journal of Electronic Imaging during the calendar year of 2018, February 6, 2019.

[8]. **“Elsevier Signal Processing Certificate of Outstanding Contribution in Reviewing,”** in recognition of the contributions made to the quality of the journal, April 2018.

[9]. **“The international society for optics and photonics, SPIE Journal of Electronic Imaging, Certificate of Appreciation,”** for serving as a reviewer for Journal of Electronic Imaging during the calendar year of 2017, February 17, 2018.

[10]. **“第 15 回情報科学技術フォーラム (FIT2016) FIT 奨励賞,”**「河畑則文，宮尾克，“S-CIELAB 色空間を用いた多視点 3DCG 画像と 5K 画像の符号化画質評価に対する相互比較”，I-035, グラフィクス・画像, pp. 223-224」の論文発表に対する受賞．富山大学五福キャンパスにて, 2016/9/7 発表, 2016/9/9 受賞．

[11]. **“平成 26 年度電子情報通信学会東海支部学生研究奨励賞（博士）,”**「8 視点パララックスバリア方式における 3DCG 画像の符号化画質評価に関する研究」の業績に対する授与．キャッスルプラザにて, 2015/6/3 受賞．

13 研究業績

13.1 査読付き学術論文誌

[1]. **Norifumi Kawabata**, **"Statistical Analysis of Questionnaire Survey on the Assessment of 3D Video Clips,"** *Displays*, Vol.71, 102110, January 2022.

[2]. **Norifumi Kawabata** and Masaru Miyao, **"Multi-view 3D CG Image Quality Assessment for Contrast Enhancement Based on S-CIELAB Color Space,"** *IEICE Transactions on Information and Systems*, Vol.E100-D, No.07, pp.1448–1462, July 2017.

[3]. **Norifumi Kawabata** and Yuukou Horita, **"Statistical Analysis of Subjective Assessment for 3D CG Images with 8 Viewpoints Lenticular Lens Method,"** *IIEEJ Transactions on Image Electronics and Visual Computing*, Vol.4, No.2, pp.101–113, December 2016.

[4]. **Norifumi Kawabata** and Masaru Miyao, **"3D CG Image Quality Metrics by Regions with 8 Viewpoints Parallax Barrier Method,"** *IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences*, Vol.E98-A, No.08, pp.1696–1708, August 2015.

13.2 査読付き国際会議

[5]. **Norifumi Kawabata**, **"Zero-Shot Semantic Segmentation for 3D CG Images Utilizing Vision-Language Pretraining and Depth Estimation,"** *Proc. of The 30th International Workshop on Advanced Image Technology* **(IWAIT2027)**, Ewha Womans University, Seoul, South Korea, January 2027 (Accepted).

[6]. **Norifumi Kawabata**, **"Simulation and Analysis of Point Cloud Data for Autonomous Driving Localization,"** *Proc. of The 33rd International Display Workshops* **(IDW'26)**, IST3-4/VHF4-4, *AI Based Image Processing*, 4 pages, ACT CITY Hamamatsu, Hamamatsu, Japan, December 2026 (to appear).

[7]. **Norifumi Kawabata**, **"Quantitative Evaluation of Spatial and Color Reproduction in 3D Gaussian Splatting Using S-CIELAB Color Space,"** *Proc. of The 9th Asia Color Association Conference* (**ACA2026 Taipei**), 6 pages, Taipei City, Taiwan, November 2026 (to appear).

[8]. **Norifumi Kawabata**, **"An Improved Biological Signal Processing and Data Cleaning Approach for EEG Database Analysis,"** *Proc. of 2026 IEEE 15th Global Conference on Consumer Electronics* **(GCCE 2026)**, 2 pages, Kobe International Conference Center, Kobe, Japan, October 2026 (to appear).

[9]. **Norifumi Kawabata**, **"Evaluating Total Variation Regularization for Denoising in Color Laparoscopic Imaging,"** *Computational Color Imaging Workshop Satellite workshop (***CCIW2026)** *within (***ICIP2026)**, IEEE International Conference on Image Processing*, 6 pages, Tampere Hall, Tampere, Finland, September 2026.

[10]. **Norifumi Kawabata**, **"A Study on Wavelet Multi-Resolution Analysis of Laparoscopic Image around Contrast Enhancement,"** *Proc. of The 41st International Technical Conference on Circuits/Systems, Computers and Communications* (**ITC-CSCC2026**), Comp.1-4, 6 pages, Royal Orchid Sheraton Riverside Hotel Bangkok, Bangkok, Thailand, July 2026.

[11]. **Norifumi Kawabata**, **"3D CG Object Image Quality Assessment and Analysis for Glossy and Painted Based on Material Data Set of the Shitsukan Perception Standard Problem,"** *Image Quality and System Performance* (**IQSP XXIII**) (*Electronic Imaging Symposium* (**EI2026**)), vol.23, IQSP-259, 6 pages, Hyatt Regency San Francisco Airport, Burlingame, CA USA, March 2026.

[12]. **Norifumi Kawabata**, **"Discussion on Introduction of Quantum Information and Computational Science in the Image Data Compression Procedure of 360 Degrees Camera,"** *Proc. of SPIE* (*The 29th International Workshop on Advanced Image Technology* **(IWAIT2026)**), 6 pages, Howard Plaza Hotel Kaohsiung, Kaohsiung, Taiwan, February 2026.

[13]. **Norifumi Kawabata**, **"Subjective Quality Assessment for Cross Reality of 3D CG Projected Video on a Holographic Display Prototype,"** *Proc. of The 32nd International Display Workshops* **(IDW'25)**, *Workshop on 3D/Hyper-Realistic Displays and Systems (3D), Cognitive Science of 3D Systems, Special Topics of Automotive Displays*, 3D3/VHF2, pp.812–815, International Conference Center Hiroshima, Hiroshima, Japan, December 2025.

[14]. **Norifumi Kawabata**, **"3D CG HEVC Images Attention Mechanism Based on Vision Transformer,"** *Proc. of The 33rd Color and Imaging Conference* (**CIC33**), P-13, 6 pages, Hong Kong Science Park, Hong Kong, October 2025.

[15]. **Norifumi Kawabata**, **"3D CG Image Quality Assessment in Vision and Language Based on Stable Diffusion,"** *Image Quality and System Performance* (**IQSP XXII**) (*Electronic Imaging Symposium* (**EI2025**)), vol.22, IQSP-243, 5 pages, Hyatt Regency San Francisco Airport, Burlingame, CA USA, February 2025.

[16]. **Norifumi Kawabata**, **"Image Quality Metrics for Cross Reality Considering Image Region and Perspective Based on 360 Degrees Camera,"** *Proc. of The 31st International Display Workshops* **(IDW'24)**, *Workshop on 3D/Hyper-Realistic Displays and Systems*, (*Emerging Technologies for 3D/Hyper-Realistic Display*), 3Dp2-7, pp.806–809, Sapporo Convention Center, Sapporo, Japan, December 4-6, 2024.

[17]. **Norifumi Kawabata**, **"HEVC Image Evaluation and Analysis between Contrast and Rotation Based on Material Data Set of the Shitsukan Perception Standard Problem,"** *Proc. of 2024 IEEE 13th Global Conference on Consumer Electronics* **(GCCE 2024)**, POS3B-23, 2 pages, Asia Pacific Import Mart (AIM) Medium Exhibition Hall, Kokura, Japan, October 29 – November 1, 2024.

[18]. **Norifumi Kawabata**, **"Evaluation of 3D CG Image Colorization Quality Using Visible Digital Watermarking after Noise Removal Based on Sparse Dictionary Learning,"** *Proc. of The 39th International Technical Conference on Circuits/Systems, Computers and Communications* (**ITC-CSCC2024**), POSIII-21, 6 pages, Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University (OIST), Okinawa, Japan, July 2-5, 2024.

[19]. **Norifumi Kawabata**, **"ROI Estimation of Laparoscopic Image Including Contrast Enhancement Based on Saliency Map,"** *Proc. of The 27th International Workshop on Advanced Image Technology* (**IWAIT2024**), 7A2 (Image/Video Compression), 6 pages, Parkroyal Langkawi Resort, Langkawi, Malaysia, January 7-8, 2024 **（電気通信普及財団海外渡航旅費援助に採択）**.

[20]. **Norifumi Kawabata**, **"HEVC Subjective and Objective Image Quality Assessment Considering Cross Reality Based on 360 Degrees Camera,"** *Proc. of The 30th International Display Workshops* (**IDW'23**), *Workshop on 3D/Hyper-Realistic Displays and Systems* (*Human Factor on Realistic Display*), 3D2/3DSA2, pp.642–645, TOKI MESSE Niigata Convention Center, Niigata, Japan, December 6-8, 2023.

[21]. **Norifumi Kawabata** and Toshiya Nakaguchi, **"Optimal Design of Color Laparoscopic Super-Resolution Image Quality Based on Generative Adversarial Networks,"** *Proc. of The 2023 International Conference on Computer Graphics and Image Processing* (**CGIP 2023**), S2-6, 7 pages, Takanawa Campus, Tokai Univ., Tokyo, Japan, January 13-16, 2023.

[22]. **Norifumi Kawabata**, **"3D CG Image Region of Interest Estimation and Visual Attention Based on Saliency Map,"** *Proc. of The 29th International Display Workshops* (**IDW'22**), *Workshop on Applied Vision and Human Factors* (*Image Quality*), VHFp1-6L, pp.709–710, Fukuoka International Congress Center, Fukuoka, Japan (Hybrid), December 14-16, 2022.

[23]. **Norifumi Kawabata**, **"Data Set Production and Evaluation for Semantic Segmentation of 3D CG Images by H.265/HEVC,"** *Proc. of The Eleventh International Workshop on Image Media Quality and its Applications* (**IMQA2022**), SO-4, pp.107–113, Online (Campus Plaza Kyoto, Kyoto, Japan), March 3-4, 2022.

[24]. **Norifumi Kawabata**, **"Visualization for Texture Analysis of the Shitsukan Research Database Based on Luminance Information,"** *Image Quality and System Performance* (**IQSP XIX**) (*Electronic Imaging Symposium* (**EI2022**)), vol.19, IQSP-198, pp.1–6, Online (San Francisco, CA, USA), January 16-20, 2022.

[25]. **Norifumi Kawabata** and Toshiya Nakaguchi, **"Color Laparoscopic High-Definition Video Quality Assessment for Super-Resolution,"** *Proc. of SPIE* (*The 25th International Workshop on Advanced Image Technology* **(IWAIT2022)**), 7A5, pp.1–6, The Hong Kong Polytechnic Univ., Hong Kong (Hybrid), January 4-6, 2022.

[26]. **Norifumi Kawabata**, **"3D CG Image Noise Removal and Quality Assessment Based on Sparse Dictionary Learning,"** *Proc. of The 2021 IEEE 3rd Global Conference on Life Sciences and Technologies* (**LifeTech 2021**), OS-AIT1-3 (Advanced Image Technology in Applied Life Science: IoT & Deep Learning Perspectives), pp.225–226, Nara Royal Hotel, Nara, Japan (Hybrid), March 9-11, 2021.

[27]. **Norifumi Kawabata** and Toshiya Nakaguchi, **"Color Laparoscopic Image Region Segmentation after Contrast Enhancement Including SRCNN by Image Regions,"** *Proc. of SPIE* (*The International Forum on Medical Imaging in Asia* (**IFMIA2021**)), no.85, 6 pages, National Taiwan Univ. of Science and Technology, Taiwan (Online), January 24-26, 2021.

[28]. **Norifumi Kawabata** and Toshiya Nakaguchi, **"Laparoscopic Image Region Segmentation Based on Texture Analysis by Regions,"** *Proc. of The Tenth International Workshop on Image Media Quality and its Applications* (**IMQA2020**), PS2-4, 6 pages, National Taiwan Univ. of Science and Technology, Taiwan, March 12-13, 2020.

[29]. **Norifumi Kawabata** and Toshiya Nakaguchi, **"Color Laparoscopic Image Diagnosis for Automatic Detection of Coded Defect Region,"** *Proc. of The 5th Asia Color Association Conference* (**ACA2019 Nagoya**), P1-25, pp.487–492, Meijo Univ., Nagoya, Japan, November 29–December 2, 2019.

[30]. **Norifumi Kawabata**, **"Computational Classification of Texture Contents in the Shitsukan Research Database,"** *Proc. of The 26th International Display Workshops* (**IDW'19**), *Workshop on Applied Vision and Human Factors* (*Ergonomics for Display Applications* II), VHF7-3, pp.1185–1188, Sapporo Convention Center, Sapporo, Japan, November 27-29, 2019.

[31]. **Norifumi Kawabata**, **"HEVC Image Quality Assessment of the Multi-view and Super-resolution Images Based on CNN,"** *Proc. of 2018 IEEE 7th Global Conference on Consumer Electronics* **(GCCE 2018)**, POS1A-3, pp.38–39, Nara Royal Hotel, Nara, Japan, October 9-12, 2018.

[32]. **Norifumi Kawabata**, **"Image Diagnosis for Coded Defect Detection on Multi-view 3D Images,"** *Proc. of The Ninth International Workshop on Image Media Quality and its Applications* **(IMQA2018)**, PS-10, pp.110–119, Kobe Univ., Kobe, Japan, September 27-28, 2018.

[33]. **Norifumi Kawabata**, **"Multi-view 3D CG Image Quality Evaluation and Analysis for Application Procedure between H.265/HEVC and Watermarking,"** *Proc. of The 21st International Workshop on Advanced Image Technology* **(IWAIT2018)**, D3-3, 4 pages, The Imperial Mae Ping Hotel, Chiang Mai, Thailand, January 7-9, 2018 **（電気通信普及財団海外渡航旅費援助に採択）**.

[34]. **Norifumi Kawabata**, **"Image Quality Assessment for Multi-view 3D CG Images and 5K High Definition Images Based on S-CIELAB Color Space,"** *Proc. of The 24th International Display Workshops* **(IDW'17)**, *Workshop on 3D/Hyper-Realistic Displays and Systems* (*Autostereoscopic Display*), Vol.24, 3D5-1, pp.849–852, Sendai International Center, Sendai, Japan, December 6-8, 2017.

[35]. **Norifumi Kawabata** and Masaru Miyao, **"Multi-view 3D CG Image Quality Assessment for Contrast Enhancement Including S-CIELAB Color Space in case the Background Region is Gray Scale,"** *Proc. of The 31st International Technical Conference on Circuits/Systems, Computers and Communications* **(ITC-CSCC2016)**, T2-6-3, pp.579–582, Municipal Center (Jichikaikan), Okinawa, Japan, July 10-13, 2016 **（映像情報メディア学会国際会議学生発表援助に採択）**.

[36]. **Norifumi Kawabata** and Masaru Miyao, **"Multi-view 3D CG Image Quality Evaluation Including Visible Digital Watermarking Based on Color Information,"** *Proc. of The Eighth International Workshop on Image Media Quality and its Applications* **(IMQA2016)**, OS1-3, pp.18–26, Noyori Conference Hall, Higashiyama Campus, Nagoya Univ., Nagoya, Japan, March 10-11, 2016.

[37]. **Norifumi Kawabata** and Masaru Miyao, **"3D CG Image Quality Assessment for the Luminance Change by Contrast Enhancement Including S-CIELAB Color Space with 8 Viewpoints Parallax Barrier Method,"** *Proc. of The 1st International Conference on Advanced Imaging* **(1st ICAI2015)**, T107-01, pp.632–635, National Center of Science (Hitotsubashi Memorial Hall), Tokyo, Japan, June 17-19, 2015.

[38]. **Norifumi Kawabata**, Masaru Miyao, and Yuukou Horita, **"3D CG Image Quality Metrics Including the Coded Degradation by Regions with 8 Viewpoints Parallax Barrier Method,"** *Proc. of The Seventh International Workshop on Image Media Quality and its Applications* **(IMQA2014)**, PS-9, pp.102–105, Keyaki Hall, Nishi Chiba Campus, Chiba Univ., Chiba, Japan, September 2-3, 2014.

[39]. **Norifumi Kawabata** and Yuukou Horita, **"Statistical Analysis and Consideration of Subjective Evaluation of 3D CG Images with 8 Viewpoints Lenticular Lens Method,"** *Proc. of The Sixth International Workshop on Image Media Quality and its Applications* **(IMQA2013)**, T1-2, pp.23–32, Takanawa Campus, Tokai Univ., Tokyo, Japan, September 12-13, 2013.

[40]. **Norifumi Kawabata**, Keiji Shibata, Yasuhiro Inazumi, and Yuukou Horita, **"Image Quality Evaluation of 3D CG Images with 8 Viewpoints Lenticular Lens Method,"** *Proc. of The Fifth International Workshop on Image Media Quality and its Applications* **(IMQA2011)**, D-10, pp.88–90, Campus Plaza Kyoto, Kyoto, Japan, October 4-5, 2011.

13.3 査読付き国内会議

[41]. 河畑則文, **"画像領域別に可視型電子透かしを考慮した多視点 3DCG 画像の背景色の違いに関する評価比較"**, 3 次元画像コンファレンス講演論文集, 2-3, 4 pages, 千葉大 西千葉キャンパス, 2017 年 7 月.

13.4 書籍等出版物

[42]. 河畑則文, **"全変動正則化の最適パラメータ設計に基づく 3DCG 符号化画像のノイズ除去に関する画質評価"**, 6 pages, 画像ラボ，日本工業出版，2024 年 9 月.

13.5 研究報告

[43]. 河畑則文, **"計算機合成ホログラフィにおけるニューラル複素データ圧縮と知覚的画質評価の検討"**, 電子情報通信学会技術研究報告, イメージ・メディア・クオリティ, vol.126, no.xx, IMQ2026-xx, pp.xx–xx (6 pages), 京工繊大 SKY PLAZA KIT, 2026 年 10 月（発表予定）.

[44]. 河畑則文, **"量子情報空間における静止画像の評価方法に関する検討"**, 映像情報メディア学会技術報告, メディア工学, vol.50, no.17, ME2026-53, IST2026-30, pp.13–18, 鳥取県立生涯学習センター, 2026 年 6 月.

[45]. 河畑則文, **"StreamDiffusion を用いた 3DCG アバターの超低遅延高画質化とメタバース空間におけるリアルタイム画質評価"**, 電子情報通信学会技術研究報告, イメージ・メディア・クオリティ, vol.126, no.31, IMQ2026-3, pp.11–16, 機械振興会館, 2026 年 5 月.

[46]. 河畑則文, **"セキュアな情報システム設計のためのカラー画像の AES 暗号化とその復元に関する検討"**, 視覚情報基礎研究会 第 49 回研究発表会予稿集, vol.49, no.CSA-FVI-25-8, pp.9–13, 千葉大 西千葉キャンパス, 2026 年 3 月.

[47]. 河畑則文, **“ルックアップテーブルアルゴリズムに基づく画像処理プログラムの高速化と符号化画質の関係性”**, 電子情報通信学会技術研究報告, 画像工学, vol.125, no.356, IE2025-79, ITS2025-64, pp.141–146, 北大, 2026 年 2 月.

[48]. 河畑則文, **“ゼロショット学習を考慮した 3DCG 画像のセマンティックセグメンテーションに関する実験的考察”**, 映像情報メディア学会技術報告, メディア工学, vol.50, no.5, ME2026-15, MMS2026-15, AIT2026-15, SIP2026-15, pp.64–69, 北大, 2026 年 2 月.

[49]. 河畑則文, **“プライバシー保護のためのスクランブル処理による画像の暗号化とその復元に関する基礎的検討”**, 電子情報通信学会技術研究報告, 高機能マルチメディア, vol.125, no.317, EMM2025-115, pp.72–77, 東北大電気通信研究所, 2026 年 1 月.

[50]. 河畑則文, **“Autoware を用いた自動運転車の自己位置推定に関するポイントクラウドの分析”**, 電子情報通信学会技術研究報告, イメージ・メディア・クオリティ, vol.125, no.203, IMQ2025-18, pp.36–41, 成蹊大, 2025 年 10 月.

[51]. 河畑則文, **“脳波データベースの生体信号処理からのデータクリーニングに関する実験”**, 電子情報通信学会技術研究報告, イメージ・メディア・クオリティ, vol.125, no.119, IMQ2025-10, HIP2025-42, pp.30–35, 札幌市立大サテライトキャンパス, 2025 年 7 月.

[52]. 河畑則文, **“360 度カメラ画像のデータ圧縮過程における量子情報計算科学の導入”**, 映像情報メディア学会技術報告, メディア工学, vol.49, no.14, ME2025-64, IST2025-26, pp.24–29, 金沢大角間キャンパス, 2025 年 6 月.

[53]. 河畑則文, **“Vision Transformer における HEVC 符号化された 3DCG 画像の Attention 機構に関する実験的考察”**, 映像情報メディア学会技術報告, メディア工学, vol.49, no.4, ME2025-19, AIT2025-19, MMS2025-19, SIP2025-19, pp.96–101, 北大, 2025 年 2 月.

[54]. 河畑則文, **“3D ホログラムディスプレイ試作機における 3DCG 投影映像のクロスリアリティ主観品質評価実験”**, 電子情報通信学会技術研究報告, イメージ・メディア・クオリティ, vol.124, no.219, IMQ2024-7, pp.1–6, 湘南工科大, 2024 年 10 月.

[55]. 河畑則文, **“質感認知標準課題画像データセットにおける 3DCG 物体の光沢感とペイントに関する画質評価・解析”**, 電子情報通信学会技術研究報告, イメージ・メディア・クオリティ, vol.124, no.46, IMQ2024-2, pp.7–12, 名大東山キャンパス, 2024 年 5 月.

[56]. 河畑則文, **“Stable Diffusion に基づく視覚・言語融合における 3DCG 生成画像の品質評価に関する基礎的検討”**, 映像情報メディア学会技術報告, 映像表現・コンピュータグラフィックス, vol.48, no.8, AIT2024-115, pp.288–291, 東京工科大八王子キャンパス, 2024 年 3 月.

[57]. 河畑則文, **“全変動正則化の最適パラメータ設計に基づく 3DCG 符号化画像のノイズ除去に関する画質評価”**, 電子情報通信学会技術研究報告, 画像工学, vol.123, no.381, IE2023-56, ITS2023-67, pp.112–117, 北大, 2024 年 2 月.

[58]. 河畑則文, **“コントラスト強調前後におけるカラー腹腔鏡画像のウェーブレット多重解像度解析”**, 映像情報メディア学会技術報告, メディア工学, vol.48, no.6, ME2024-28, MMS2024-12, AIT2024-12, pp.61–66, 北大, 2024 年 2 月.

[59]. 河畑則文, **“質感認知標準課題画像データセットにおける 3DCG 物体のコントラストと回転要素に関する HEVC 符号化画像の統計的分析”**, 映像情報メディア学会技術報告, メディア工学, vol.47, no.6, ME2023-54, MMS2023-34, AIT2023-34, pp.247–252, 北大, 2023 年 2 月.

[60]. 河畑則文, **“360 度カメラ画像における H.265/HEVC 符号化画質評価とクロスリアリティ主観品質評価実験”**, 電子情報通信学会技術研究報告, イメージ・メディア・クオリティ, vol.122, no.224, IMQ2022-12, pp.7–12, 名大東山キャンパス, 2022 年 10 月.

[61]. 河畑則文, 中口俊哉, **“顕著性マップに基づく腹腔鏡コントラスト強調画像の関心領域推定における統計的分析”**, 電子情報通信学会技術研究報告, 画像工学, vol.121, no.374, IE2021-43, ITS2021-34, pp.55–60, オンライン開催（北大）, 2022 年 2 月.

[62]. 河畑則文, **“スパース辞書学習型コーディングに基づくノイズ除去後の 3DCG 画像における可視型電子透かしを用いたカラリゼーションの品質評価”**, 映像情報メディア学会技術報告, メディア工学, vol.46, no.6, ME2022-31, MMS2022-6, AIT2022-6, pp.31–36, オンライン開催（北大）, 2022 年 2 月.

[63]. 河畑則文, 中口俊哉, **“敵対的生成ネットワークによるカラー腹腔鏡超解像画像の生成時における画質と学習効果の関係性”**, 電子情報通信学会技術研究報告, 医用画像, vol.121, no.347, MI2021-59, pp.59–64, オンライン開催（屋久島離島開発総合センター）, 2022 年 1 月.

[64]. 河畑則文, 中口俊哉, **“敵対的生成ネットワークによるカラー腹腔鏡超解像画像の最適設計と画質評価”**, 電子情報通信学会技術研究報告, 医用画像, vol.120, no.431, MI2020-91, pp.186–190, オンライン開催（宮古島 平良港（ひららこう）ターミナルビル）, 2021 年 3 月**（日本生体医工学会生体画像と医用人工知能研究会特別セッション）**.

[65]. 河畑則文, 桑原悠紀也, 川崎拓弥, **“Autoware を用いた自動運転車の自己位置推定に関する検討”**, 電子情報通信学会技術研究報告, イメージ・メディア・クオリティ, vol.120, no.389, IMQ2020-31, IE2020-71, MVE2020-63, pp.103–108, オンライン開催（崇城大）, 2021 年 3 月.

[66]. 河畑則文, **“H.265/HEVC を考慮した 3DCG 符号化画像のセマンティックセグメンテーションのためのデータセットの作成とその評価”**, 電子情報通信学会技術研究報告, 画像工学, vol.120, no.364, IE2020-44, ITS2020-30, pp.19–24, オンライン開催（北大）, 2021 年 2 月.

[67]. 河畑則文, **“輝度情報に基づく質感研究データベースのテクスチャ解析とその評価”**, 映像情報メディア学会技術報告, メディア工学, vol.45, no.4, ME2021-11, MMS2021-11, AIT2021-11, pp.53–58, オンライン開催（北大）, 2021 年 2 月.

[68]. 河畑則文, 中口俊哉, **“超解像を含むカラー腹腔鏡高精細動画像の品質評価に関する実験”**, 電子情報通信学会技術研究報告, 医用画像, vol.120, no.220, MI2020-45, MICT2020-19, pp.60–61, オンライン開催（神戸大）, 2020 年 11 月.

[69]. 河畑則文, 中口俊哉, **“画像領域別に SRCNN 超解像処理を考慮したカラー腹腔鏡コントラスト強調画像の領域分割に関する検討”**, 映像情報メディア学会技術報告, メディア工学, vol.44, no.6, ME2020-50, MMS2020-22, HI2020-22, AIT2020-22, pp.113–118, 北大, 2020 年 2 月.（**2020 年 5 月，メディア工学研究会特別セッションで再発表**，オンライン開催（金沢大 サテライトプラザ））

[70]. 河畑則文, **“スパース辞書学習型コーディングに基づく 3DCG 画像のノイズ除去に関する画質評価”**, 電子情報通信学会技術研究報告, イメージ・メディア・クオリティ, vol.119, no.215, IMQ2019-6, pp.1–10, 阪大 吹田キャンパス, 2019 年 10 月.

[71]. 河畑則文, 中口俊哉, **“画像領域別のテクスチャ解析に基づく腹腔鏡画像の領域分割に関する基礎検討”**, 映像情報メディア学会技術報告, メディア工学, vol.43, no.5, ME2019-37, MMS2019-15, HI2019-15, AIT2019-15, pp.125–130, 北大, 2019 年 2 月.

[72]. 河畑則文, 中口俊哉, **“符号化欠損領域の自動検出を想定した腹腔鏡画像の色情報解析と医用画像診断における改善と効率的な分類器パラメータの適用”**, 電子情報通信学会技術研究報告, 医用画像, vol.118, no.286, MI2018-42, MICT2018-42, pp.21–26, 兵庫県立大 神戸情報科学キャンパス, 2018 年 11 月.

[73]. 河畑則文, **“質感研究データベースにおける HEVC 画像品質のテクスチャ解析結果に基づく質感種別の分類方法に関する検討”**, 電子情報通信学会技術研究報告, イメージ・メディア・クオリティ, vol.118, no.256, IMQ2018-13, pp.13–18, 京工繊大 松ヶ崎キャンパス, 2018 年 10 月.

[74]. 河畑則文, **“CNN の構造に基づいた多視点超解像画像の最適設計と符号化画質評価”**, 電子情報通信学会技術研究報告, イメージ・メディア・クオリティ, vol.118, no.65, IMQ2018-3, pp.15–20, 千葉工大, 2018 年 5 月.

[75]. 河畑則文, 中口俊哉, **“符号化欠損領域情報の自動検出を想定した医用画像診断の基礎検討”**, 電子情報通信学会技術研究報告, 画像工学, vol.117, no.432, IE2017-106, ITS2017-74, pp.77–82, 北大, 2018 年 2 月.

[76]. 河畑則文, **“多視点 3DCG 画像のある視点における符号化欠損領域検出を想定した画像診断の検討”**, 電子情報通信学会技術研究報告, イメージ・メディア・クオリティ, vol.117, no.356, IMQ2017-21, pp.7–12, 静岡大 浜松キャンパス, 2017 年 12 月.

[77]. 河畑則文, **“多視点裸眼 3DCG 画像の品質評価における H.265/HEVC 符号化と可視型電子透かしの適用順序に関する考察”**, 電子情報通信学会技術研究報告, イメージ・メディア・クオリティ, vol.117, no.144, IMQ2017-8, HIP2017-50, pp.15–20, 札幌市立大 サテライトキャンパス, 2017 年 7 月.

[78]. 河畑則文, 宮尾克, **“S-CIELAB 色空間を用いた多視点 3DCG 画像と 5K 画像の符号化画質評価に対する分類アルゴリズムの適用”**, 電子情報通信学会技術研究報告, イメージ・メディア・クオリティ, vol.116, no.369, IMQ2016-18, pp.13–18, 東京工科大, 2016 年 12 月.

[79]. **Norifumi Kawabata** and Masaru Miyao, **“Multi-view 3D CG Image Quality Assessment by Using S-CIELAB Color Space Including Visible Digital Watermarking by Regions in case the Background Region is Gray Scale,”** *IEICE Tech. Rep., Image Media Quality*, vol.116, no.68, IMQ2016-1, pp.1–6, Nishi-Chiba Campus, Chiba Univ., May 2016 (in English).

[80]. 河畑則文, 宮尾克, **“画像領域別に可視型電子透かしを考慮した多視点 3DCG 画像の品質評価”**, 電子情報通信学会技術研究報告, イメージ・メディア・クオリティ, vol.115, no.493, IMQ2015-45, IE2015-144, MVE2015-72, pp.97–102, 名桜大, 2016 年 3 月.

[81]. 河畑則文, 宮尾克, **“色情報に基づいた可視型電子透かしを考慮した 8 視点裸眼 3DCG 画像の品質評価”**, 電子情報通信学会技術研究報告, 画像工学, vol.115, no.220, IE2015-52, LOIS2015-20, EMM2015-35, pp.27–32, 名大 東山キャンパス, 2015 年 9 月.

[82]. **Norifumi Kawabata** and Masaru Miyao, **“3D CG Image Quality Metrics for the Contrast Enhancement of the Object Region Including S-CIELAB Color Space with 8 Viewpoints Parallax Barrier Method,”** *IEICE Tech. Rep., Image Media Quality*, vol.115, no.48, IMQ2015-4, pp.17–22, Gofuku Campus, Univ. of Toyama, May 2015 (in English).

[83]. 河畑則文, 宮尾克, **“周波数領域変換による可視型電子透かしの位置を考慮した 8 視点裸眼 3DCG 画像の品質評価”**, 電子情報通信学会技術研究報告, イメージ・メディア・クオリティ, vol.114, no.485, IMQ2014-49, IE2014-110, MVE2014-97, pp.107–112, 成蹊大, 2015 年 3 月.

[84]. 河畑則文, 宮尾克, **“可視型電子透かしを考慮した 8 視点裸眼 3DCG 画像の品質評価”**, 電子情報通信学会技術研究報告, イメージ・メディア・クオリティ, vol.114, no.386, IMQ2014-23, pp.39–44, 名大 大幸キャンパス, 2014 年 12 月.

[85]. 河畑則文, 宮尾克, **“8 視点パララックスバリア方式における領域別に符号化劣化させた 3DCG 画像中の背景領域がグレースケールである場合の主観品質評価”**, 電子情報通信学会技術研究報告, イメージ・メディア・クオリティ, vol.114, no.171, IMQ2014-11, pp.25–30, 富山大 五福キャンパス, 2014 年 8 月.

[86]. 河畑則文, 宮尾克, 堀田裕弘, **“8 視点パララックスバリア方式における 3DCG 画像中の物体または背景領域に符号化劣化が生じた場合の主観品質に関する評価実験”**, 電子情報通信学会技術研究報告, イメージ・メディア・クオリティ, vol.114, no.35, IMQ2014-6, pp.25–30, 東海大 高輪キャンパス, 2014 年 5 月.

[87]. 河畑則文, 宮尾克, **“3D 映像の評価に関するアンケート結果の統計的分析”**, 電子情報通信学会技術研究報告, イメージ・メディア・クオリティ, vol.113, no.350, IMQ2013-22, pp.27–32, 静岡大 浜松キャンパス, 2013 年 12 月.

[88]. 河畑則文, 堀田裕弘, **“8 視点レンチキュラレンズ方式による 3DCG 画像の主観評価値における統計的分析”**, 電子情報通信学会技術研究報告, イメージ・メディア・クオリティ, vol.113, no.45, IMQ2013-4, pp.19–24, 成蹊大, 2013 年 5 月.

[89]. 河畑則文, 柴田啓司, 稲積泰宏, 堀田裕弘, **“8 視点レンチキュラレンズ方式を用いた 3DCG 画像のある視点に符号化劣化が生じた場合の画質評価”**, 電子情報通信学会技術研究報告, イメージ・メディア・クオリティ, vol.112, no.234, IMQ2012-17, pp.17–22, 京工繊大 松ヶ崎キャンパス, 2012 年 10 月.

[90]. 河畑則文, 柴田啓司, 稲積泰宏, 堀田裕弘, **“8 視点レンチキュラレンズ方式を用いた 3DCG 映像のカメラ間隔と視点数による画質評価”**, 電子情報通信学会技術研究報告, 画像工学, vol.111, no.478, IE2011-152, MVE2011-114, pp.109–114, 富山大 五福キャンパス, 2012 年 3 月.

[91]. 河畑則文, 柴田啓司, 稲積泰宏, 堀田裕弘, **“アクティブシャッターメガネ方式による 3DCG 映像の画質評価”**, 電子情報通信学会技術研究報告, イメージメディアクウォリティ, IMQ, pp.11–15, 静岡大 浜松キャンパス, 2011 年 3 月.

13.6 大会・シンポジウム

[92]. 河畑則文, **“知識蒸留を用いた視覚疲労緩和動画生成モデルの軽量化と画像特徴量による特性評価”**, 映像情報メディア学会冬季大会講演予稿集, 2 pages, 帝京大板橋キャンパス, 2026 年 12 月（発表予定）.

[93]. 河畑則文, **“3DCG 符号化画像におけるテクスチャ保存に向けた局所適応型全変動正則化とその画質評価”**, 信号処理シンポジウム (SIPS2026) 講演論文集, 6 pages, 広島市文化交流会館, 2026 年 12 月（発表予定）.

[94]. 河畑則文, **“学術メディア保護に向けた不可視型電子透かしによる生成 AI 改ざん検知に関する一検討”**, 画像符号化シンポジウム / 映像メディア処理シンポジウム (PCSJ/IMPS2026) 資料, P1-18, 2 pages, 御殿場高原ホテル, 2026 年 11 月（発表予定）.

[95]. 河畑則文, **“ゼロ知識証明を用いたプライバシー保護画像領域マスク処理のオンチェーン検証に関する一検討”**, 画像符号化シンポジウム / 映像メディア処理シンポジウム (PCSJ/IMPS2026) 資料, P3-14, 2 pages, 御殿場高原ホテル, 2026 年 11 月（発表予定）.

[96]. 河畑則文, **“計算機合成ホログラフィにおける複素データ圧縮に向けたニューラルネットワーク適用の基礎的検討”**, 電子情報通信学会ソサイエティ大会講演論文集, A-15-10, p.196, 北大, 2026 年 9 月.

[97]. 河畑則文, **“デザイン教育 DX を指向した 3DCG 質感認知における脳波からの画像再構成に関する一検討”**, 情報科学技術フォーラム講演論文集 (FIT2026), グラフィクス・画像, CI-006, pp.73–78, 北九州学術研究都市（北九州市立大，九州工業大，早大）, 2026 年 9 月.

[98]. 河畑則文, **“動画生成 AI を用いた調節・輻輳緩和コンテンツの生成と画像特徴量による予備的評価”**, 映像情報メディア学会年次大会講演予稿集, 31A-2, 2 pages, 九州産業大, 2026 年 8 月.

[99]. 河畑則文, **“ゼロショット学習を考慮した 3DCG 画像のセマンティックセグメンテーションの検討”**, 映像情報メディア学会冬季大会講演予稿集, 21B-8, 2 pages, 慶大矢上キャンパス, 2025 年 12 月.

[100]. 河畑則文, **“ルックアップテーブルアルゴリズムに基づく画像処理プログラムの高速化に関する考察”**, 画像符号化シンポジウム / 映像メディア処理シンポジウム (PCSJ/IMPS2025) 資料, P3-16, pp.129–130, 御殿場高原ホテル, 2025 年 11 月.

[101]. 河畑則文, **“大規模並列計算アーキテクチャに基づく画像処理プログラムの高速化に関する考察”**, 情報科学技術フォーラム講演論文集 (FIT2025), グラフィクス・画像, I-032, pp.347–352, 北海道科学大, 2025 年 9 月.

[102]. 河畑則文, **“全変動正則化に基づくカラー腹腔鏡画像のノイズ除去に関する画質評価”**, 映像情報メディア学会年次大会講演予稿集, 21B-2, 2 pages, 東京理科大葛飾キャンパス, 2025 年 8 月.

[103]. 河畑則文, **“全変動正則化に基づく 3DCG 画像のノイズ除去に関する画質評価”**, 画像符号化シンポジウム / 映像メディア処理シンポジウム (PCSJ/IMPS2023) 資料, P3-02, pp.80–81, 御殿場高原ホテル, 2023 年 11 月.

[104]. 河畑則文, **“コントラスト強調前後におけるカラー腹腔鏡画像のウェーブレット解析に関する基礎的検討”**, 信号処理シンポジウム (SIPS2023) 講演論文集, P1-10, 2 pages, 京都テルサ, 2023 年 11 月.

[105]. 河畑則文, **“360 度カメラ画像における画像領域と遠近感を考慮した H.265/HEVC 符号化画質評価とクロスリアリティ主観品質評価”**, 情報科学技術フォーラム講演論文集 (FIT2023), グラフィクス・画像, I-009, pp.245–250, 大阪公立大中百舌鳥キャンパス, 2023 年 9 月.

[106]. 河畑則文, **“質感認知標準課題画像データセットにおける HEVC 符号化画像解析”**, 画像符号化シンポジウム / 映像メディア処理シンポジウム (PCSJ/IMPS2022) 資料, P3-21, pp.136–137, 御殿場高原ホテル（ハイブリッド開催）, 2022 年 11 月.

[107]. 河畑則文, 中口俊哉, **“カラー腹腔鏡符号化画像のセマンティックセグメンテーションにおける評価に関する基礎的検討”**, 日本医用画像工学会大会予稿集 (JAMIT2022), OP14-5, pp.230–231, 名大東山キャンパス, 2022 年 7 月.

[108]. 河畑則文, 中口俊哉, **“顕著性マップに基づく腹腔鏡コントラスト強調画像の関心領域推定”**, 画像符号化シンポジウム / 映像メディア処理シンポジウム (PCSJ/IMPS2021) 資料, P3-15, pp.133–134, 御殿場高原ホテル（ハイブリッド開催）, 2021 年 11 月.

[109]. 河畑則文, **“顕著性マップに基づく 3DCG 画像の関心領域推定と視覚的注意に関する考察”**, 情報科学技術フォーラム講演論文集 (FIT2021), グラフィクス・画像, CI-002, pp.21–24, オンライン開催（東北学院大）, 2021 年 8 月.

[110]. 河畑則文, **“H.265/HEVC を考慮した 3DCG 符号化画像のセマンティックセグメンテーションに関する検討”**, 画像符号化シンポジウム / 映像メディア処理シンポジウム (PCSJ/IMPS2020) 資料, P2-C-2, pp.63–64, オンライン開催, 2020 年 11 月.

[111]. 河畑則文, 中口俊哉, **“コントラスト強調手法の違いがカラー腹腔鏡画像の画質に与える影響”**, 画像符号化シンポジウム / 映像メディア処理シンポジウム (PCSJ/IMPS2019) 資料, P-2-17, pp.88–89, 御殿場高原ホテル, 2019 年 11 月.

[112]. 河畑則文, **“スパース性に基づく 3DCG 画像のノイズ除去に関する画質評価”**, 電子情報通信学会ソサイエティ大会講演論文集, コミュニケーションクオリティ／イメージ・メディア・クオリティ, B-11-32, p.188, 阪大 豊中キャンパス, 2019 年 9 月.

[113]. 河畑則文, 中口俊哉, **“カラー腹腔鏡画像診断のためのコントラスト強調と SRCNN 超解像処理の最適条件に関する考察”**, 日本医用画像工学会大会予稿集 (JAMIT2019), OP5-06, pp.586–595, 奈良春日野国際フォーラム 甍〜I・RA・KA〜, 2019 年 7 月.

[114]. 河畑則文, 中口俊哉, **“画像領域別のテクスチャ解析に基づく腹腔鏡画像の医用画像診断への応用”**, 日本コンピュータ外科学会誌, vol.20, no.4 (XI-5), pp.366–367, 奈良県文化会館, 2018 年 11 月.

[115]. 河畑則文, **“質感研究データベースにおける HEVC 画像品質のテクスチャ解析”**, 電子情報通信学会ソサイエティ大会講演論文集, A-16-3, p.135, 金沢大 角間キャンパス, 2018 年 9 月.

[116]. 河畑則文, 中口俊哉, **“符号化欠損領域情報の自動検出を想定した腹腔鏡画像の色情報解析と医用画像診断に関する考察”**, 日本医用画像工学会大会予稿集 (JAMIT2018), OP6-5, pp.249–254, 筑波大 天王台キャンパス, 2018 年 7 月.

[117]. 河畑則文, **“多視点 3DCG 画像の符号化欠損領域検出を想定した画像診断の検討”**, 画像符号化シンポジウム / 映像メディア処理シンポジウム (PCSJ/IMPS2017) 資料, P-4-01, pp.130–131, ラフォーレ修善寺, 2017 年 11 月.

[118]. 河畑則文, 宮尾克, **“H.265/HEVC 符号化画像透かしにおける多視点 3DCG 画像の品質評価”**, 画像符号化シンポジウム / 映像メディア処理シンポジウム (PCSJ/IMPS2016) 資料, P-2-19, pp.98–99, ラフォーレ修善寺, 2016 年 11 月.

[119]. 河畑則文, 宮尾克, **“S-CIELAB 色空間を用いた多視点 3DCG 画像と 5K 画像の符号化画質評価に対する相互比較”**, 情報科学技術フォーラム講演論文集 (FIT2016), グラフィクス・画像, I-035, pp.223–224, 富山大 五福キャンパス, 2016 年 9 月 **（FIT2016 FIT 奨励賞受賞）**.

[120]. 河畑則文, 宮尾克, **“グレースケール領域を含む 8 視点裸眼 3DCG 画像の符号化画質評価”**, 映像情報メディア学会年次大会講演予稿集, 画像符号化, 32B-2, pp.32B-2-1–32B-2-2, 東京理科大 葛飾キャンパス, 2015 年 8 月.

[121]. 河畑則文, 宮尾克, **“S-CIELAB 色空間を用いた 8 視点裸眼 3DCG 画像の符号化画質評価”**, 電子情報通信学会総合大会講演論文集, イメージ・メディア・クオリティ, A-21-2, p.292, 立命館大 びわこ・くさつキャンパス, 2015 年 3 月.

[122]. 河畑則文, 宮尾克, **“電子透かしを考慮した 8 視点裸眼 3DCG 画像の品質評価”**, 画像符号化シンポジウム (PCSJ/IMPS2014) 資料, P4-06, pp.65–66, ラフォーレ修善寺, 2014 年 11 月.

[123]. 河畑則文, 柴田啓司, 稲積泰宏, 堀田裕弘, **“8 視点レンチキュラレンズ方式による 3DCG 画像の画質評価”**, 電子情報通信学会ソサイエティ大会講演論文集, イメージ・メディア・クオリティ, A-21-4, p.239, 北大, 2011 年 9 月.

13.7 講演等

[124]. **Norifumi Kawabata**, **“A Study on 3D CG Image Quality Assessment Based on Visible Digital Watermarking for Advanced Information Security,”** *2025 8th International Conference on Blockchain Technology and Applications* (**ICBTA2025**), *Data Privacy and Information Security Protection Mechanisms*, The Kanazawa Theatre, Kanazawa, Ishikawa, Japan, December 2025 (Invited).

[125]. 河畑則文, **“情報科学分野からアプローチする DX 推進に関する研究〜クロスリアリティから生体信号処理、大規模並列計算アーキテクチャまで〜”**, 金沢大学学術メディア創成センター DX セミナー，九大マス・フォア・インダストリ研究所（オンライン），2025 年 10 月（招待あり）.

[126]. 河畑則文, **“360 度カメラ画像の符号化画質評価に関する研究〜クロスリアリティ主観評価から客観評価、量子コンピュータへの応用まで〜”**, 電気・情報関係学会北陸支部連合大会, 富山大五福キャンパス（オンライン），2025 年 9 月（招待あり）.

[127]. 河畑則文, **“ディープラーニングの精度を向上させる医用画像データの前処理技術”**, 技術情報協会セミナー（医用画像を解析する AI・ディープラーニングの作り方〜その精度向上・高効率化・過学習対策〜）, 東京都品川区五反田，2019 年 12 月（招待あり）.

[128]. 河畑則文, **“YIN (Young Investigator Networking) セッション”**, 第 27 回日本コンピュータ外科学会大会, 奈良県文化会館, 2018 年 11 月（招待あり）.

13.8 学位論文

[129]. **Norifumi Kawabata**,
“A Study of the Multi-view 3D CG Image Quality Assessment Including the Image Characteristics,”
名古屋大学 大学院 情報科学研究科 情報システム学専攻 博士論文, 2017 年 1 月.

[130]. 河畑則文,
“8 視点レンチキュラレンズ方式における 3DCG 画像の画質評価”,
富山大学 大学院 理工学教育部 知能情報工学専攻 修士論文, 2013 年 2 月.

[131]. 河畑則文,
“アクティブシャッターメガネ方式による 3DCG 映像の画質評価”,
富山大学 工学部 知能情報工学科 卒業論文, 2011 年 3 月.